

『家康伊賀越え、逃走の京田辺を再現！』

■本能寺の変 天正10(1582)年6月2日 早朝

光秀 : 謀反を起こす

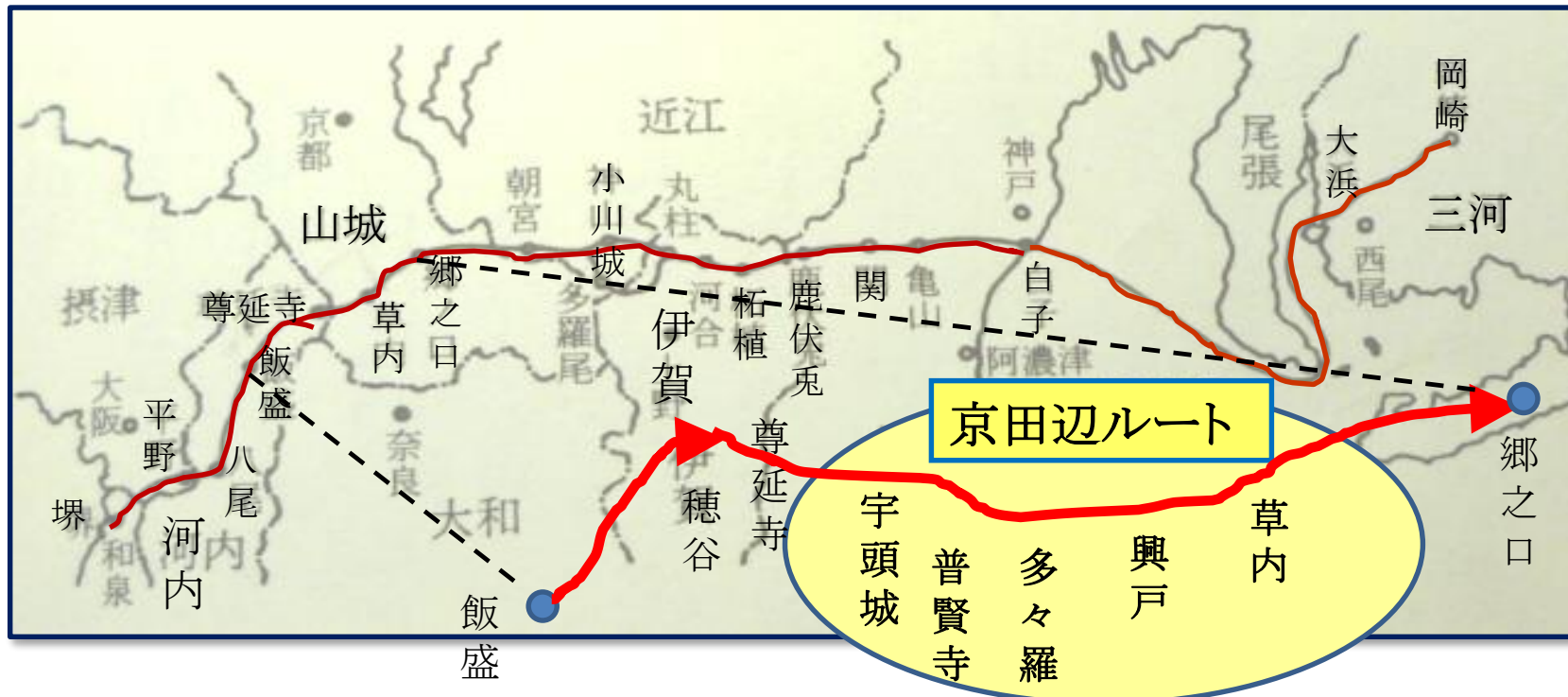
信長 : 本能寺に宿泊中に襲われ、四十九年の人生を終える

家康 : 上方遊覧が終わり、信長に会うために、堺の妙國寺を発ち京都へ向かう
河内飯盛山西麓でこの変報を受ける

■「神君伊賀越え」 家康一行:三日間の逃走ドラマ

苦難の道中、襲撃、協力者・道案内人

飯盛(四條畷)～尊延寺～京田辺～宇治田原(郷之口)～信楽～伊賀～白子～岡崎



主な出来事・経過

| 月日 | 時刻 | 出来事 | 場所 | |
|-----|----------|-------------------------------------|---------|-------------------|
| 6/2 | 4時 | 本能寺の変が起こる | | |
| | | 家康、信長に上方遊覧の御礼に京都へ向かう | 堺、平野、八尾 | |
| | 12時 | 茶屋四郎、本多忠勝に「信長自刃」を報告 | 交野 | |
| | 14時 | 忠勝、家康に変を伝える | 飯盛山西麓 | |
| | 16時 | 三河に帰ることを決め出発 ※伊賀ルート選択（服部半蔵） | | 茶屋：銀子 本多：蜻蛉切り槍 |
| | | 長谷川秀一：恩顧者に連絡、道案内を依頼 | 星田 | 宇治田原、信楽 |
| | 20時 ～ | 山中道に迷い、普賢寺の百姓新八と出会う 穂谷の白井家で休息・仮寝 | 穂谷、尊延寺 | 家康身分を明かす |

| | | | | |
|-----|---------|---|------------------------------|----------------|
| 6/3 | ～ 7時 | 新八と穂谷百姓忍兵衛の案内を受け 草内(くさじ)の渡しまで | 宇頭城、普賢寺、 多々羅、興戸、 草内渡し場 | 家康から 証文を授かる |
| | 8時 | 飯岡 小山太郎左衛門政清らに助けられ、 木津川を舟で渡る | 木津川（増水中） | 九寸七首を授かる |
| | 10時 | 山口城から新主膳正末景、市野辺出雲守、 奥田仁義らが出迎え、宇治田原山口城へ | 市辺、青谷、郷之口 | 山口城主 山口甚介秀康 |

9月28日(木) 9:00~12:30 『ウォーキング』 約7km

JR三山木～山本(驛、寿宝寺)～飯岡(古墳群、穴山梅雪の墓、蓮華寺跡、渡し場)
～草内の渡し場～[咋岡神社・法泉寺]～JR同志社前

| ウォーク場所・他 | 説明、注目点、関連事項 |
|----------|---|
| 穴山梅雪の墓 | 梅雪は家康から遅れる、土民に追われ飯岡の渡しで自害、飯岡共同墓地、新案内板、見性院(正室、信玄の次女、保科正之を養育) |
| 蓮華寺跡 | 梅雪の墓を明治初めまで葬る、後方に七井戸あり |
| 飯岡渡し場 | 梅雪自害の場、土地の人が憐れみ葬り塔を建てるが洪水で度々崩壊 |
| 草内渡し場 | 家康が渡った場、飯岡小山政清が助け九寸の匕首を賜る、くさじと読む |
| 多々羅 | 渡来人による日本最初の外国蚕飼育、製鉄、筒城宮址、新宮社 |
| 古民家 | 築200年の大和棟、家康が近辺を逃走、ビオ多々羅カフェ |
| 通過する所 | 山本、飯岡古墳群、豊田武兵衛碑(用水路)、咋岡神社、法泉寺 等 |



※最近の話題 ①甲賀伊賀越え(甲賀の1次史料、多羅尾・山口・和田・山岡)、天正伊賀の乱
②京田辺逃走路は学者も知らない③梅雪墓の新案内板?(梅雪主将、普賢寺郷宿泊) 3



9:時 集合、出発
① JR三山木
② 穴山梅雪の墓
③ 蓮華寺跡
④ 飯岡渡し場
⑤ 草内渡し場
⑥ JR同志社前
12時半頃 解散

家康が逃げた
ルート

■ 11/30(木) 9~12時半
『普賢寺谷の中世館、
周辺の文化財巡り』
JR同志社前集合

■ 10/26(木) 9時~12時半
『神君伊賀越え』シリーズ
JR三山木~宇頭城~
普賢寺谷~JR同志社前